

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		省エネ行動の推進		款	6	項	1	目	1	事業	4	整理番号	451						
担当部課名		環境清掃部環境都市推進課		係名	環境都市推進担当		連絡先電話番号		3735		昨年度整理番号	447							
上位施策No・施策名		18 環境配慮行動の推進		予算事業区分								既定事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	15	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	3	施策番号	2	事業コード	6	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			区民、事業者、NPO等団体、行政(区)		根拠法令等		(1) 省エネ法 (2) 杉並区住宅用太陽エネルギー利用機器及び省エネルギー機器導入助成金交付要綱										
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			○区民、事業者、NPO等団体、行政が地域における二酸化炭素排出量削減目標を共有し、環境負荷の低減に向けてともに環境配慮行動に取組みます。		活動指標名(式)		(1) 太陽光発電システム機器設置助成件数 (2)										
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)			○平成18年6月策定の「杉並区地域省エネ行動計画」に基づき、区内の二酸化炭素(CO2)排出量削減目標の達成を目指し、省エネ等環境配慮行動を推進する。 ○再生可能エネルギーの活用や省エネに寄与する機器を導入する区民に対して助成を行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標										
				成果指標名(1)		太陽光発電普及率													
				算定式・指標の説明等		杉並区設置助成件数÷杉並区専用住宅棟数													
				成果指標名(2)		杉並区年間二酸化炭素(CO2)排出量													
				算定式・指標の説明等		集計の関係上、現在は20年度数値が最新となっています。													
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績										
指標	活動指標(1)	①	件	72	120	133	330	339	330	102.7									
	活動指標(2)	②																	
	成果指標(1)	③	%	0.5	0.6	0.6	1.1	1.1	1.5	100.0									
	成果指標(2)	④	kt-CO2	1726			1462			0.0									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	19,329	34,184	30,691	59,700	52,029	55,601	22年度予算執行率%	87.2								
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ○22年度執行残の理由は次のとおりです。 ①太陽光発電システム機器設置助成事業で、申請後の取下げが発生したため。 ②エコドライブ支援機器導入助成事業で申請が予定数に達しなかったため。									
	(内)委託費	⑦	千円	2,325	2,170	1,993	6,934	2,060	2,000										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.50 0.60	1.90 1.00	2.10 1.00	4.00 0.65	3.68 0.50	4.20 0.00										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	13,575	16,870	18,646	35,680	32,826			37,464							
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	1,680	2,793	2,793	1,918	1,475			0							
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	34,584	53,847	52,130	97,298	86,330	93,065										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	480,333	448,725	391,955	294,842	254,661	282,015										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0							
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0							
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	3,630	5,000	4,820			5,000							
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0			514							
		特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	0	0	3,630	5,000	4,820			5,514							
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	34,584	53,847	48,500	92,298	81,510	87,551										
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 451

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		住宅用太陽エネルギー利用機器及び省エネルギー機器導入助成	611	件	47,600
		省エネ相談窓口の開設	28	回	577
		省エネ出前ミニ講座の開催	7	回	30
		省エネWeb運営管理			845
		その他 (省エネ懇談会・リーフレット、ポスター作成 ほか)			2,977
(2) 事業実績		<p>杉並区では家庭からの二酸化炭素排出量が全体の4割以上を占めることから、家庭における二酸化炭素排出量の削減を一層推進するため、太陽エネルギー利用機器設置助成の枠を拡大し、太陽光発電機器等の普及に努めてきました。また、省エネに関するリーフレット、ポスターの作成や省エネ相談窓口の継続的な開催により省エネ行動の普及・啓発に努めました。</p> <p>平成22年度から、環境マネジメントシステムに代え、新たに区独自の「環境・省エネ対策実施プラン」による省エネ対策に取り組んでいます。</p>			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	(2) 協働等の相手	
	一部実現している ▼	NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ) ▼	
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方	
	協働[実行委員会・協議会] ▼	推進 ▼	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	東日本大震災による深刻な電力不足に対し、区民、事業者、行政が一丸となって節電に取り組む必要が生じるとともに、再生可能エネルギーや省エネルギーが一層重要視され、エネルギーの自給率向上が課題となっています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	節電方法や効果に対する質問や相談があります。また、太陽光発電機器や高効率給湯器の助成額を増やしてほしいとの要望が寄せられています。
	今後の予測	東日本大震災後、深刻な電力の供給不足に伴い、節電対策が必要とされる中、再生可能エネルギーの普及促進や家庭における節電の取組みがますます重要となってきます。
評価と課題		太陽光発電システム機器や高効率給湯器などの省エネ機器の助成制度は区民の関心も高く、今後とも助成内容や手法等を含めて効果的な支援のあり方について、引続き検討していく必要があります。また、東日本大震災を契機に、深刻な電力不足が懸念されることに伴い、節電に重点的に取り組むことが求められており、今まで省エネ行動の浸透のために実施してきた情報の提供や相談会、講演会を活用して節電対策を広く、区民、事業者等に周知啓発していく必要性があります。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	● 拡 充 ○ 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
	東日本大震災による深刻な電力不足は、電力の安定供給を前提とした意識や活様式に警鐘を鳴らすものであり、今後、再生可能エネルギー導入促進、省エネ行動の普及や浸透に取組み、エネルギーの自給率を高め、低炭素型の地域社会の実現に努めていきます。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		環境配慮行動の推進			款	6	項	1	目	1	事業	5	整理番号	452					
担当部課名		環境清掃部環境都市推進課			係名	すぎなみ環境情報館		連絡先電話番号	3398-3195			昨年度整理番号	448						
上位施策No・施策名		18 環境配慮行動の推進			予算事業区分								既定事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	13	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	3	施策番号	2	事業コード	7	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 区民、環境団体																	
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	○多様な行動プランを区民に提供する。 ○積極的に環境配慮行動に取り組む区民を数多く創出する。																	
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	○親子環境教室を区内NPOに委託し、夏休みの期間にさまざまな体験型の講座を開催することにより、環境について関心を深め、環境配慮行動を広める。																	
根拠法令等		(1) 環境基本条例 (2) 環境基本計画																	
活動指標名(式)		(1) 親子環境教室 開催数 (2)																	
成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標																	
成果指標名(1)		親子環境教室 参加人数																	
算定式・指標の説明等																			
成果指標名(2)																			
算定式・指標の説明等																			
区分	単位	20年度		21年度		22年度		23年度計画	計画(目標値)に対する22年度の達成率 %										
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績													
指標	活動指標(1)	①	回	16	4	4	4	4	0	100.0									
	活動指標(2)	②																	
	成果指標(1)	③	人	6	120	139	120	43	0	35.8									
	成果指標(2)	④																	
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	4,528	1,380	655	652	511	986	22年度予算執行率% 78.4									
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 創意工夫により消耗品等への支出を減じたため、執行残が生じました。									
	(内)委託費	⑦	千円	2,654	421	403	400	360	597										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.20 0.00	0.00 0.20	0.14 0.20	0.00 0.40	0.00 0.40	0.80 0.00										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	1,810	0	1,243	0	0		7,136								
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	559	559	1,180	1,180		0								
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	6,338	1,939	2,457	1,832	1,691	8,122										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	396,125	484,750	614,250	458,000	422,750											
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0												
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0												
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0													
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0			986										
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	986										
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	6,338	1,939	2,457	1,832	1,691	7,136										
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 452

22年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単位	回数	
(1)主な取組み	親子環境教室開催	4	回		360
	その他 ()				151
(2)事業実績	夏休み期間中を利用して、親子を対象として、楽しく自然・環境問題を学ぶ環境教室を開催しましたが、参加者は昨年を大きく下回りました。				

協働等点検	(1)協働等の実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3)協働等の形態 協働[委託]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	国の地球温暖化対策やエネルギー政策に加え、生物多様性の保全・再生・創出など、環境を重視した施策が打ち出されるようになりました。 また、東日本大震災による原子力発電所や火力発電所の被災は、深刻な電力不足を招き、国民、事業者、行政が一丸となった節電への取組みと、国のエネルギー政策の再検討を要する事態となり、エネルギーや環境問題への関心が高まっています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	親子環境教室の実施時期を夏休みに集中して開催することにより、参加しやすい環境を整えました。 また、夏休みに親子を対象とする区から委託を受けたNPOが主催する類似の事業があることから、どの親子教室が自分のニーズに合うのか、問い合わせがあります。
	今後の予測	東日本大震災を契機に、徹底した省エネルギー・節電と再生可能エネルギーの導入促進が課題となり、生活様式の見直しも含め、環境問題への関心が高まることが予想されます。
評価と課題		環境配慮行動の推進は、現在求められている節電対策や環境政策の基本であり、引き続き取り組むべき事業ですが、親子環境教室については、区が環境・リサイクル啓発事業を委託しているNPOによる同趣旨の講座が開催されていることから、実施を見直します。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更			
平成23年度からは「環境配慮行動の推進」事業としての親子環境教室は、類似事業に参加者が分散する傾向があることから、実施を見直しし、区が環境・リサイクル啓発事業を委託しているNPOの事業に統合します。 また、中学生が、環境問題について考え、行動するきっかけづくりとなる「中学生環境サミット」を実施し、若年層からの環境配慮行動の推進を図ります。						

特記事項	平成23年度数値は、「中学生環境サミット」にかかる数値です。
------	--------------------------------

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		自然環境の保全		款	6	項	1	目	2	事業	3	整理番号	458						
担当部課名		環境清掃部環境都市推進課		係名	すぎなみ環境情報館		連絡先電話番号	3398-3195		昨年度整理番号	455								
上位施策No・施策名		18 環境配慮行動の推進		予算事業区分								既定事業							
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	60	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	3	施策番号	2	事業コード	7	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		自然環境保全に関心のある区民、団体など		根拠法令等	(1) 自然環境保全法 (2) 環境基本法												
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		○区民が生き物の名前や生息地を知ることにより自然を身近に感じ、環境保護の意識を高めます。 ○動植物の生息状況を正確に把握し記録に留め、自然保護の指標とします。		活動指標名(式)	(1) 会報「すぎなみの街と自然」発行回数 (2)												
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		○「自然環境調査報告書」並びに「河川生物調査報告書」を5年毎に発行する。 ○会報「すぎなみの街と自然」を発行する。 ○杉並環境マップWebを管理・運営する。		成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)自然観察会参加人数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等												
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %								
指標	活動指標(1)	①	回	4	5	4	4	1	4	25.0									
	活動指標(2)	②																	
	成果指標(1)	③	人	32	60	99	200	176	150	88.0									
	成果指標(2)	④																	
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	869	6,395	5,644	1,049	379	593	22年度予算執行率% 36.1									
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 会報「すぎなみの街と自然」発行回数が、1回のみであったため執行率が低くなっています。									
	(内)委託費	⑦	千円	548	5,974	5,444	638	268	255										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.50 0.45	0.30 0.50	0.30 0.50	0.00 1.20	0.00 1.20	0.00 1.20										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	4,525	2,664	2,664	0	0				0						
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	1,260	1,397	1,397	3,540	3,540				3,540						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	6,654	10,456	9,705	4,589	3,919	4,133										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	1,663,500	2,091,200	2,426,250	1,147,250	3,919,000	1,033,250										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0												
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0												
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0													
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0													
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0										
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	6,654	10,456	9,705	4,589	3,919	4,133										
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 458

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		会報「すぎなみの街と自然」発行(委託等)	1	回	111
		杉並環境マップWebのデータ整備(委託等)			268
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	会報「すぎなみの街と自然」発行を行い、身のまわり調査員(223名)に送付しました。 すぎなみ環境情報館HPの編集を行い、21年度調査を行った第6次河川環境調査報告書を掲載しました。また、サイトマップを最新の情報に編集しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区における高等植物の出現種類数は昭和60、61年＝776種、平成17、18年＝887種となっています。妙正寺川、善福寺川、神田川に生息が確認された在来種の魚類は昭和57年＝12種、平成21年度＝15種となっています。外来種の魚類は昭和57年＝5種、平成21年度＝11種と在来種の増加を上回っています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	自然環境調査等の継続実施を希望する声が寄せられています。
	今後の予測	自然環境を継続して記録することは、自然環境保全や生物多様性の観点から重要な役割を果たすことが考えられます。
	評価と課題	自然環境の把握のために定期的に委託及び区民のボランティアによる調査を行っており、一定の評価を受けていますが、調査にあたっては、その成果が学校環境学習や環境情報館の講座をはじめ、区民の自然環境の保全に向けた取り組みに活用されるようにすることが課題です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更
	自然環境調査の重要性に鑑み、効果的な実施方法や調査成果の活用のあり方などについて、学識経験者や地域NPO等関係者の意見を聞き、見直しを進めてきました。 今後、調査の時期や実施方法を含め、成果が学術的な研究にとどまらず広く区民の環境学習等に十分に活用できるよう、実施の具体化に向けた検討を行います。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 471

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
			あんさんぶる荻窪の維持管理		
		すぎなみ環境情報館の事業運営			15,254
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	環境情報館で実施する講座等の回数、参加者は前年度とほぼ同程度となっています。また、環境学習室の本来の目的である環境活動のための利用は全体の約3割で、残りは目的外使用となっています。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	すぎなみ環境情報館開館時は、地球温暖化などの地球環境問題に社会的な関心が寄せられていましたが、東日本大震災を契機に、基幹エネルギーの見直しや放射能汚染問題がより重要視されています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	現在、社会的な関心を集めている再生可能エネルギーや放射能問題に関する講演会の開催を期待する声が寄せられています。
	今後の予測	エネルギー問題等、社会的な注目を集めている課題について、すぎなみ環境情報館が積極的に区民に情報発信をすることが求められます。
	評価と課題	すぎなみ環境情報館において、地域の環境団体に委託して開催している講座や講演会は概ね好評ですが、内容が固定化する傾向があるため、より魅力ある、時代に即した講座等の開催をめざして、委託先と協議を進め、工夫をすることが必要です。 また、現在、すぎなみ環境情報館では、区の再任用職員、非常勤職員による直営部門による管理運営と地域の環境団体への委託による環境講座等の事業運営、貸室業務が行われており、今後、役割分担の見直しを行い、より効果的・効率的な運営を検討する必要があります。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
	すぎなみ環境情報館が時代の変化を踏まえ、社会的課題に対しても区民の理解と関心を深め、地域の期待や要望に応えていけるよう、特色ある新たな事業展開や区民の活動支援のあり方について、関係者と協議を進める必要があります。また、新しい公共の観点から、可能な限り、運営を地域の手に乗せるとともに、行政と地域の環境団体との役割分担を明確にしていけるため、委託業務の範囲や内容の見直しを行い、併せて、職員配置についても職務実態に即して効率化を図っていきます。		

特記事項	
------	--